



MAM796B

IIXIL

アパートドア

組立て説明書

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡してください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠ 注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注意

- 丁番取付けねじは、最後まで締付けてください。ねじがゆるいとドア本体脱落の原因になります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・組立て時に、コーキングシーラーが上・下枠、無目の周りにはみ出すように合わせてください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■組立て上のお願い

- ガラス寸法は、ダンボールまたはカタログをご覧ください。
- 必ず指定の取付けねじで固定してください。

■ねじ・部品一覧表

①	㊦	㊦	㊦
ナベタッピンねじ φ4×60	ナベタッピンねじ φ4×35	下枠アンカー	プッシュボタン

別途手配品	
※枠に取付け	※本体に取付け
ドアガード受け(枠用) (バインド小ねじM4×10)	ドアガードアーム (①皿小ねじM4×16) (②皿タッピンねじ1種φ4×25)

※防火仕様および電気錠タイプは①を使用
非防火仕様の手動タイプは②を使用

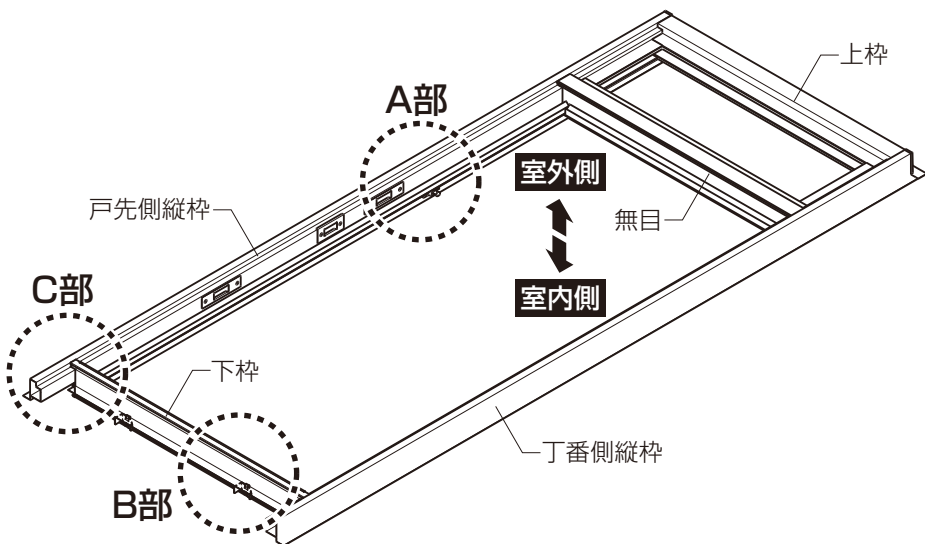
■組立て順序

1 枠の組立て

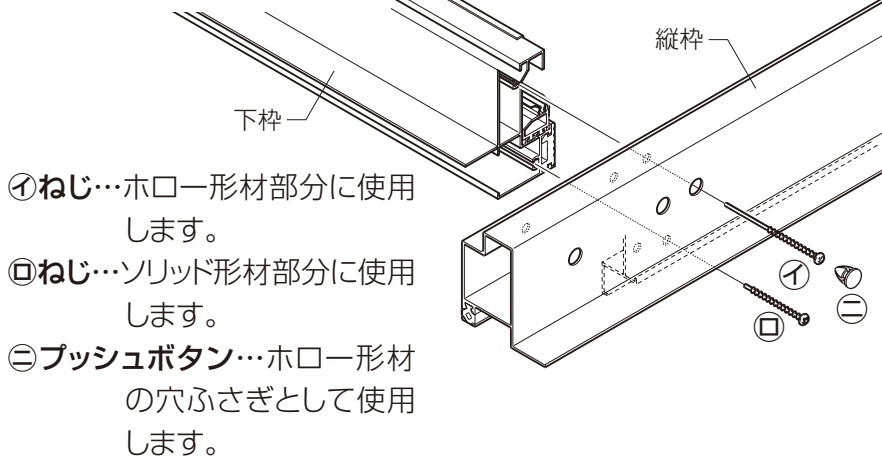
※ランマなしの場合、無目はありません。

【幅木を取付ける場合】

- 幅木は別売りを使用します(k2、k3仕様のみ設定)。取付け説明書は、幅木セットの中に同梱してあります。
- 下枠幅木は必ず枠組立てと同時に取付けてください。



【①、㊦ねじの使い分け】

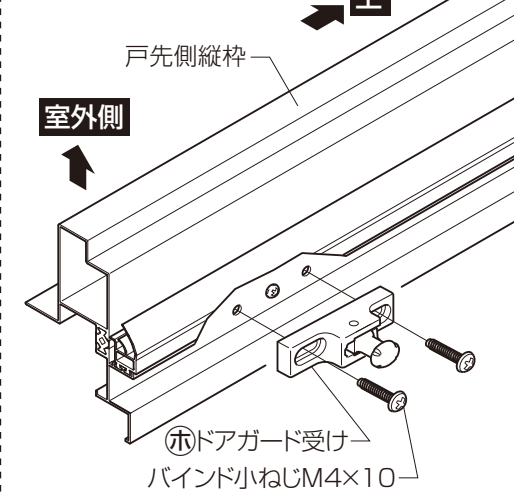


- ①ねじ…ホロー形材部分に使用します。
- ㊦ねじ…ソリッド形材部分に使用します。
- ㊦プッシュボタン…ホロー形材の穴ふさぎとして使用します。

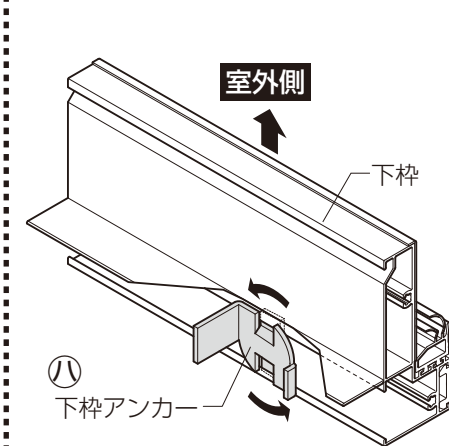
■組立て詳細

1 枠の組立て

■A部詳細図

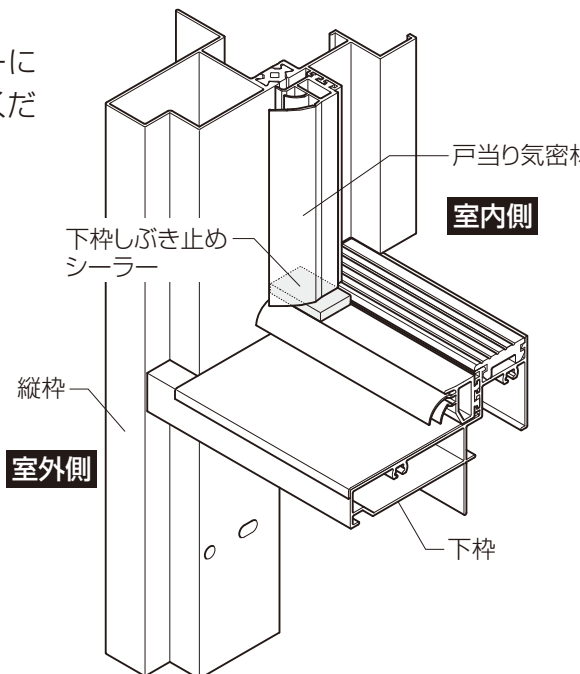


■B部詳細図

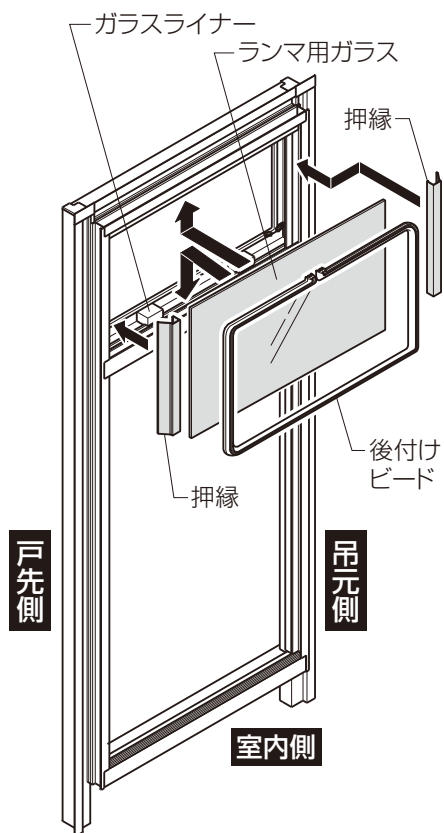


■C部詳細図

- 下枠しぶき止めシーラーに密着するように取付けてください。

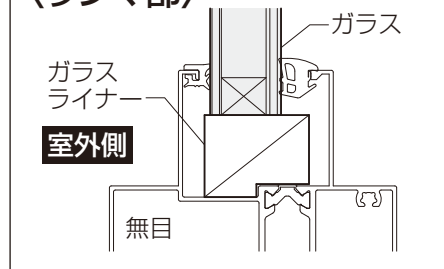


2 ランマへのガラス入れ



- ガラスをケンドンで入れ、押縁を取付け、後付けビード(k2、k3仕様のみ同梱)で固定してください。

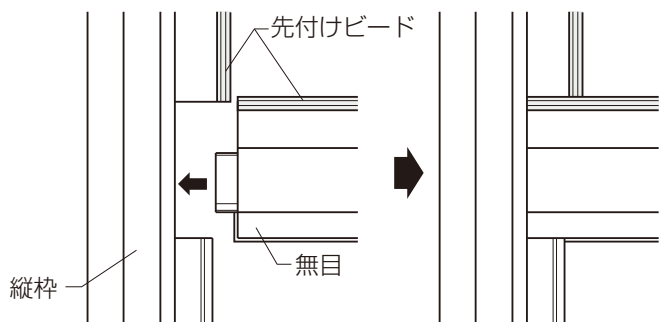
■ガラスライナーの納まり<ランマ部>



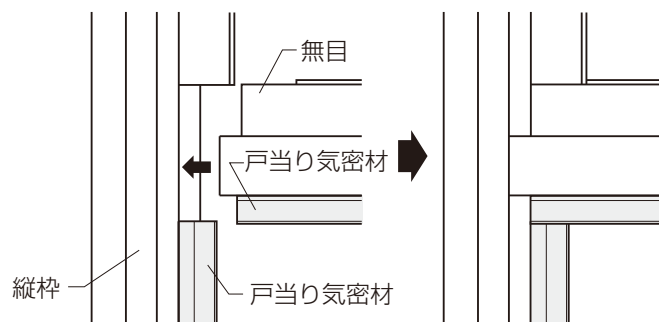
【先付けビード・戸当り気密材のコーナー部納まりについて】

- 組立ての際、コーナー部の先付けビード・戸当り気密材が正しく納まっているか確認してください。

■先付けビード(内観図)

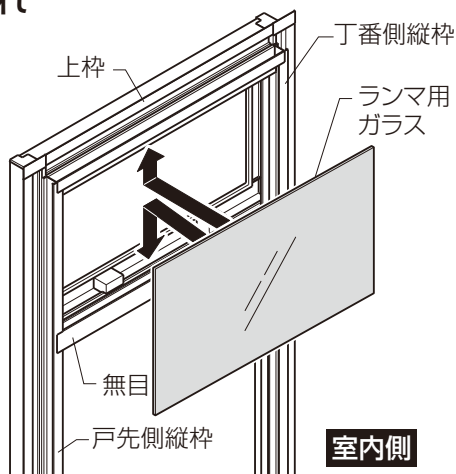


■戸当り気密材(外観図)

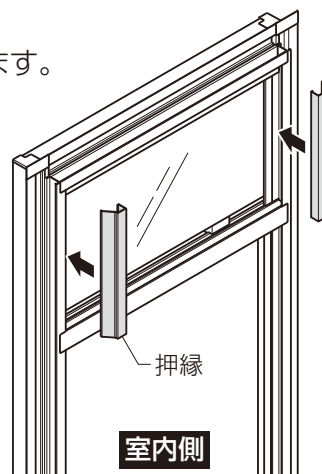


2 ランマへのガラス入れ

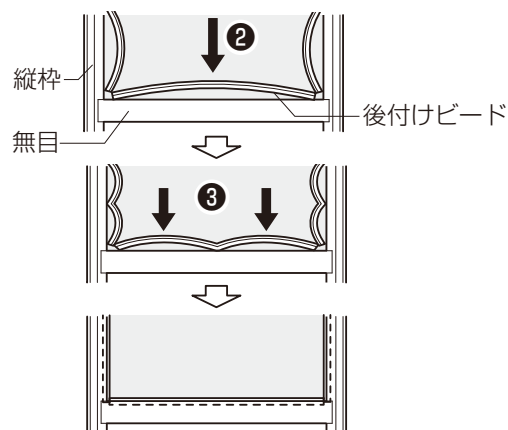
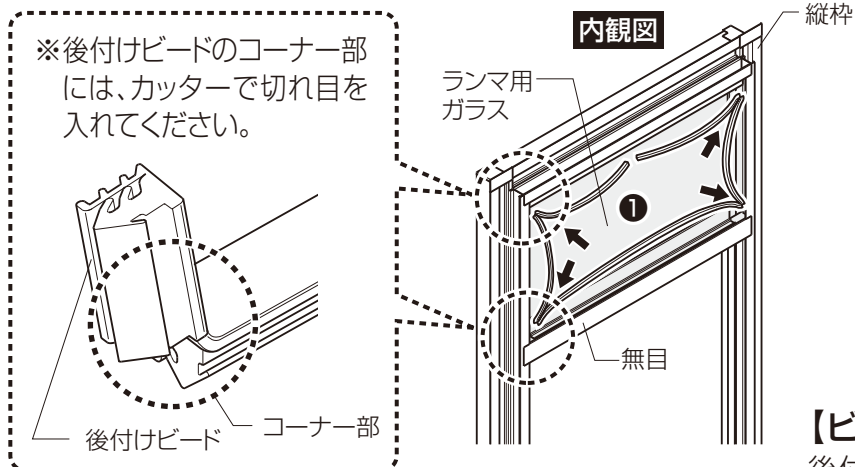
- ①上枠側からケンドンでガラスを差込みます。



- ②押縁を入れます。



- ③-1 図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。
[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]
- ③-2 図の②③のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押込みます。

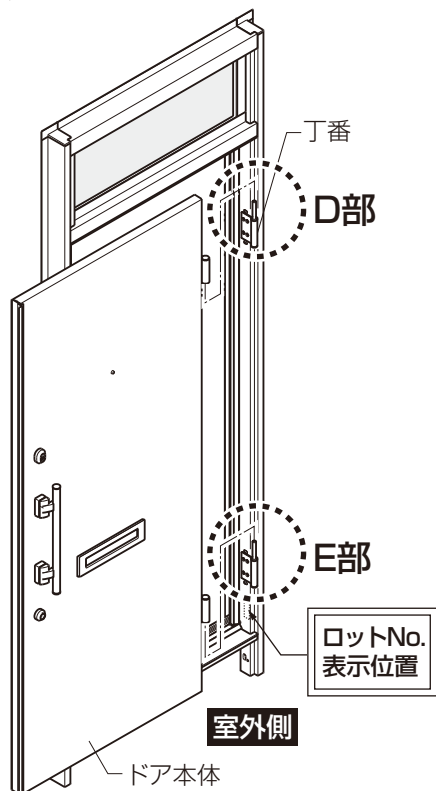


【ビードの押込みがきつい場合】

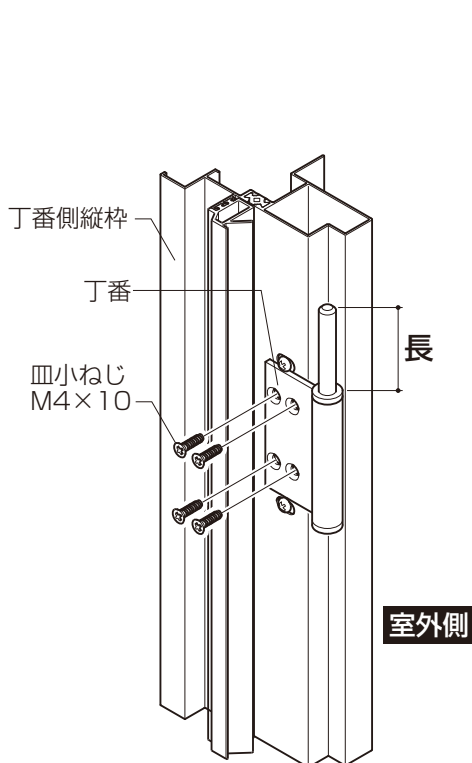
後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。

■丁番の取付けと本体の吊込み

- ①枠側は、皿小ねじM4×10(短い方のねじ)で取付けてください。(取付けねじは、丁番セットに同梱されています。)本体側は、皿小ねじM4×18(長い方のねじ)で取付けてください。
- ②ドア本体を枠に吊込みます。



■上部丁番(D部詳細図)



■下部丁番(E部詳細図)

